

# 週間市場レポート (2020年3月9日~3月13日)

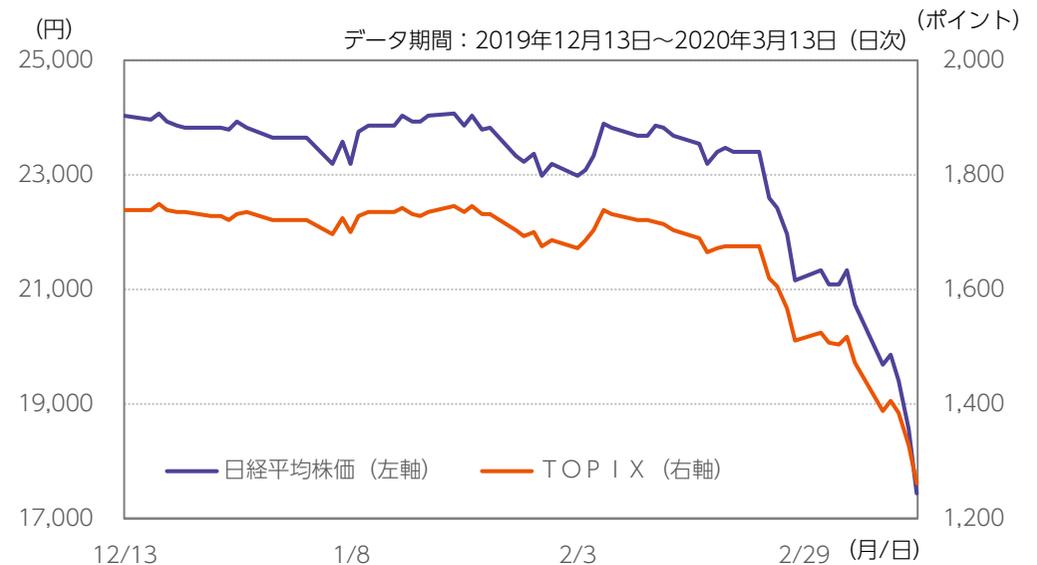
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/3/6	先週末 2020/3/13	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		20,749.75	17,431.05	▲15.99 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,471.46	1,261.70	▲14.26 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		25,864.78	23,185.62	▲10.36 ↓
S&P500種指数		2,972.37	2,711.02	▲8.79 ↓
ユーロ・ストックス50指数		3,232.07	2,586.02	▲19.99 ↓
S&P/ASX300指数		6,173.53	5,489.96	▲11.07 ↓
上海総合指数		3,034.51	2,887.43	▲4.85 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)*		801.32	726.52	▲9.34 ↓
東証REIT指数		2,043.04	1,596.30	▲21.87 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		761.91	674.03	▲11.53 ↓
ASX300 REIT 指数		1,568.90	1,351.90	▲13.83 ↓
グローバルREIT (除く日本)*		189.34	163.60	▲13.59 ↓
日本10年国債 (%)		▲0.12	0.05	0.18 ↑
米国10年国債 (%)		0.76	0.96	0.20 ↑
ドイツ10年国債 (%)		▲0.71	▲0.54	0.17 ↑
英国10年国債 (%)		0.24	0.41	0.18 ↑
ドル/円		105.39	107.62	2.12 ↑
ユーロ/円		119.05	119.46	0.34 ↑
英ポンド/円		137.54	132.47	▲3.68 ↓
豪ドル/円		69.88	66.68	▲4.58 ↓
フィラデルフィア半導体指数		1,699.89	1,544.26	▲9.16 ↓
WTI原油先物 (ドル)		41.28	31.73	▲23.13 ↓
CRB指数		155.85	140.84	▲9.63 ↓
アレリアンMLP指数		832.73	572.33	▲31.27 ↓

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場 (日経平均株価) は、前週末比で大幅下落となりました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と石油輸出国機構 (OPEC) とロシアなどのOPEC非加盟国との協調減産協議の決裂を受けた原油価格の急落などにより、週初は前週末比で大幅下落となりました。その後は、各国の経済政策への期待や円安進行により買いが優勢となる場面もあったものの、米国の景気刺激策への失望と世界保健機関 (WHO) によるパンデミック (世界的な大流行) 表明が投資家心理を冷やし、週末まで続落となりました。週末の終値は、2016年11月以来3年4カ月ぶりの安値となりました。



≪ 債券 ≫

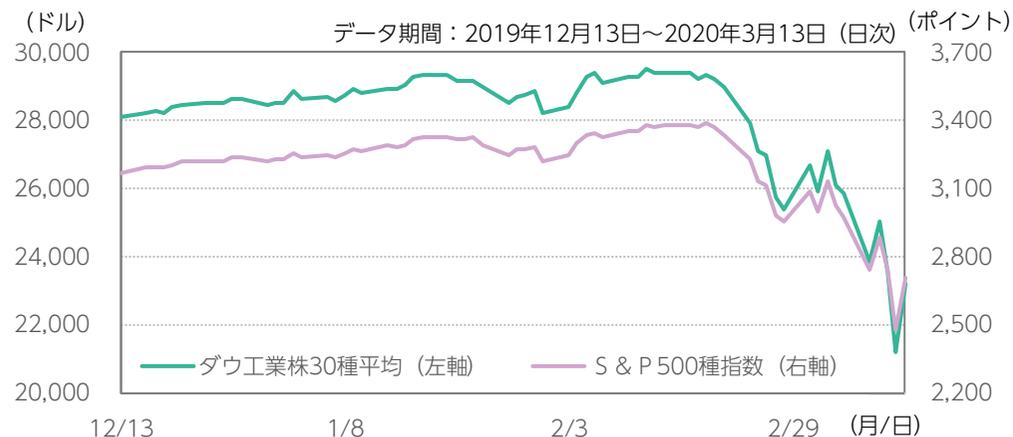
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で大幅上昇となりました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、景気対策のための国債増発が投資家に意識され、債券需給が緩むとの見方から売りが優勢となり（利回りは上昇）、2020年1月22日以来のプラス圏となりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で大幅下落となりました。米景気刺激策に対する失望感やWHOのパンデミック宣言などもあり、週を通じて下落基調となりました。週末には、トランプ米大統領が公表した景気下支え策が好感され上昇したものの、週間では大幅下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けた投資家のリスク回避姿勢の高まりと、各国の経済政策への期待感がきつ抗し、一進一退の展開となったものの、週末は米国の景気下支え策が好感され大幅に円安米ドル高が進行しました。



5) 今週の見通しについて

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は続いており、終息の兆しは見られていません。WHOによるパンデミック宣言などを受け先週の株式市場は週初より下落基調となりました。週末はトランプ米大統領が公表した具体的な景気下支え策が好感され米国株式は反発したものの、先週の株式市場は日米両市場ともに前週末比で大幅下落となりました。

米連邦準備制度理事会（FRB）は15日、臨時の会合を開き、政策金利を1%引き下げるとともに国債などの資産買い入れ方針を公表したものの、市場では対応は不十分との声が多く聞かれます。

各国が協調して景気を下支えするための措置を取ることが公表されていますが、新型コロナウイルスによる世界経済への悪影響は大きいとみられており、引き続き日米両市場ともに値動きの荒い展開が予想されます。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>